

ERCP(内視鏡的逆行性胆道・膵管造影)検査を受ける方へ

患者氏名 _____ 様

病状説明:胆道(胆管・胆のう)や膵臓に疾患(結石・腫瘍・炎症など)が疑われ、診断・治療目的に行います。
 終了基準:検査後、偶発症がなければ終了となります。

	外来	入院日(/ /)	ERCP当日(/ /)	ERCP後1日目(/ /)
検査 治療 処置	●レントゲンや 心電図検査が あります	●血液検査を行います	●治療前に、右手から点滴を行います ●排尿を済ませ検査着に着替えて頂きます ●車椅子(ストレッチャー)にて検査室までご案内します ●内視鏡室にて肩に筋肉注射を行います ●処置後ストレッチャーにて病室に戻ります	●朝6時～7時頃採血に伺います ●採血結果により、午前中に腹部CT検査を行います 
薬剤	●休薬していただく お薬の説明をします ()	●持参されたお薬がありましたらお知らせ下さい (入院時のみ) 	●朝の内服は医師の指示があれば、朝6時に服用して下さい ●点滴が3本あります ●抗菌薬の点滴を検査直前とその8時間後の2回行います ●痛みがある時は痛み止めを使用します ●熱がある時は解熱剤を使用することがあります ●嘔気・嘔吐がみられる時は、吐き気止めを使用します ●持参されたお薬は、医師の指示があれば服用して頂きます 	●抗菌薬の点滴を朝10時と夜7時ごろに行います ●持参されたお薬は医師の指示があれば内服して下さい
安静度 リハビリテーション		●歩行や入浴制限はありません 	●検査終了後より医師の指示があるまで床上安静となります 検査終了後2時間後に採血を行います 指示があるまではベッド上排泄となります *採血結果により、安静度変更の指示があります ●本日は入浴出来ません	●病棟内歩行ができます ●診察・採血の結果でシャワー浴ができます
全身管理			●検査直後に膵炎予防のため、必要に応じて坐薬を挿入します ●検査前・帰室直後・処置終了後1時間後・2時間後・5時間後 検温に伺います ●帰室後、心電図モニターを装着します ●喉の痛み・腹痛・背部痛・嘔気・嘔吐など不快な症状があればお知らせ下さい	●朝6時・10時頃検温に伺います ●心電図モニターを外します 
食事 栄養管理		●夜9時以降、絶食	●終日絶食です ●検査3時間前から水分は摂れません ●検査終了後2時間後の採血の結果で水分(水・お茶)を摂ることができます	●診察・採血の結果で、昼より食事(全粥)が開始になります
説明 指導 教育		●病棟内の案内をします(入院時のみ) ●医師より説明をします ●薬剤師から説明をします(入院時のみ) ●栄養士から説明をします(入院時のみ)	●時計・眼鏡・義歯・マニキュア・ネイル・ヘアピン・コンタクトレンズ・ 指輪・化粧・湿布などはお取り下さい ●検査後医師より、内視鏡室にて結果説明あります	

退院後の生活について (/)

☆治療した部分は、完全に治癒するまでに約2ヶ月かかります。
十分な睡眠をとり、規則正しい生活を送りましょう。

退院後、1週間は以下のことに注意して下さい。

食事・飲み

- ・脂肪の多い食事は避けてください。
- ・刺激物は避け、消化の良いものを食べてください。
- ・暴飲暴食は避けてください。
- ・食事は腹八分目にし、ゆっくりよく噛んで食べてください。
- ・主食、主菜、副菜をバランスよく摂ってください。
- ・食後は30分程安静にしてください。

お酒

- ・禁酒してください。

たば

- ・禁煙してください。

仕事

- ・からだの状態に合わせて調節してください。
 - ・出張は避けてください。
- 万が一の出血などの可能性も考慮し、当院にて緊急対応できるように。

運動

- ・軽い運動(散歩など)は可能です。
- ・外出は可能です。
- ・旅行、遠出は避けてください。

入浴

- ・入浴は可能です。
 - ・長湯やサウナは避けてください。
- 血流が亢進し、出血するリスクがあります。

くすり

- ・処方された薬は次回外来まで忘れずお飲みください。

ステントを入れた際には、ステントが閉塞する可能性があります。
その症状としては、発熱・腹痛・嘔気・嘔吐・黄疸などがあります。
この症状がみられた時は、すぐに受診して下さい。

受診時には病院に連絡をお願いします

075-391-5811(代表)

京都桂病院



お大事に